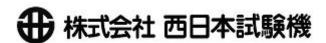
S-180 OJ 式現場 CBR 試験装置取扱説明書



JIS A 1211 に規定されるとおりの油圧ジャッキを使用した現場 CBR 試験装置で、油圧ジャッキは 50kN のもので最小目盛 1kN のブルドン管式圧力計を使用しています。

〈仕様〉

⑫荷重板・・・・・・4
⑱油圧ジャッキ・・・・・・1
⑨ピストン取付板・・・・・・・1
①ダイヤルゲージ 1/100×20mm ·····2
⑤ダイヤルゲージスタンド・・・・・・2
④貫入ピストン・・・・・・・1
8木製架台・・・・・1
球座⋅⋅⋅⋅⋅1



OJ 式現場 CBR 試験装置 設置試験方法

- 1) 試験箇所の表面を直径約 30cm の水平な面に仕上げ 乾燥砂を薄く敷きならす。
- 2) 試験装置を組み立てる。(別紙図参照)
 - ① 重受板を設置し、貫入ピストンを取付板にセットし 地面立て荷重板をセットして下さい。
 - ② ダイヤルゲージをダイヤルゲージスタンドにセットして下さい。
 - ③ 油圧ジャッキを取付板に載せて下さい。
 - ④ ダイヤルゲージをセットしゲージを0に合わせて下さい。
 - ⑤ ジャッキ上部に球座をセットして下さい。
- 3) 貫入ピストンを試験面に密着させる為 0.05KN(5kgf)以下の荷重 を加える。この時の荷重計及び貫入量測定装置の読みを初期値にする。
- 4) 貫入ピストンを 1mm/min 速さで貫入させて下さい。 貫入量 0.5mm、1.0mm、1.5mm.2.0mm、2.5mm、3.0mm 4.0mm,5.0mm,7.5mm,10.0mm 及び 12.5mm の時、荷重計の読値を 記録する。貫入量が 12.5mm になる前に荷重計の読みが最大値に 達した時は、荷重計の読みと貫入量を記録しておく。